

ヨーロッパモビリティウィーク & カーフリーデー

実施状況報告

2015

ムルシア（スペイン）

ヨーロッパモビリティウィークアワード

2015受賞



写真：European Mobility Week 公式 HP より抜粋

2015 年のテーマ

「Choose. Change. Combine. （選んで・変えて・組み合わせよう 賢い移動）」

ヨーロッパモビリティウィークへの参加都市分布図（2015年）

■ 実施都市



© CFDjapan



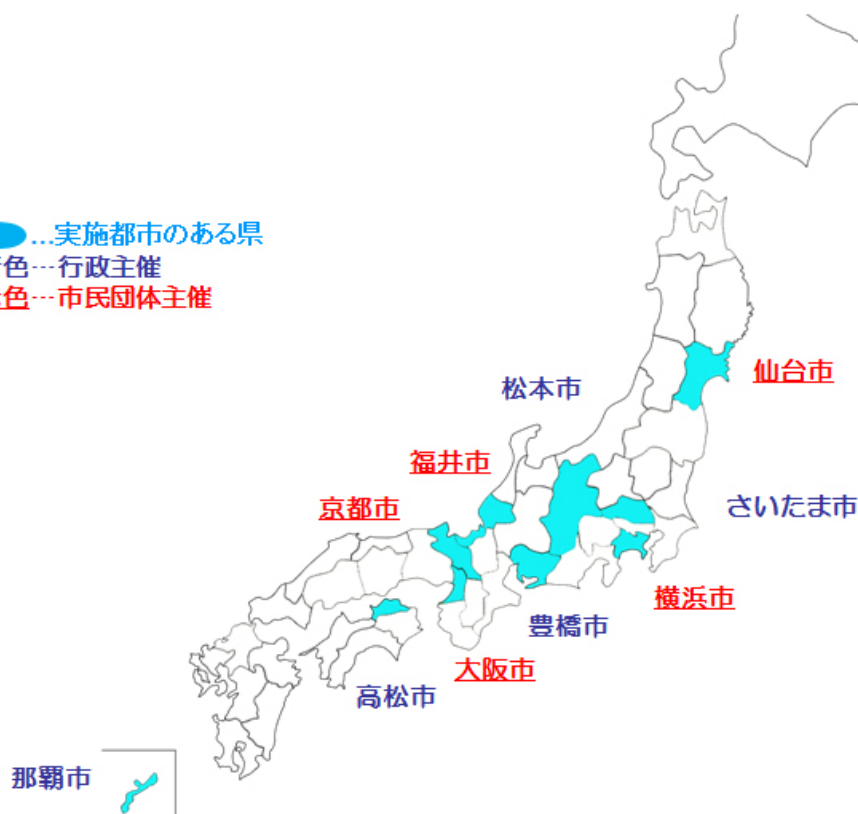
日本では 10 都市 で開催されました！

EMW&CFD2015 参加都市と実施形態の概要				
	主催団体	都市名	主催	
			行政	市民
1	交通を考える研究会	仙台市		●
2	さいたまカーフリーデー実行委員会	さいたま市	●	●
3	NPO法人横浜カーフリーデー実行委員会	横浜市		●
4	松本市ノーマイカーデー推進市民会議	松本市	●	●
5	カーフリーデーふくい実行委員会	福井市		●
6	愛知県豊橋市役所	豊橋市	●	
7	自転車文化タウンづくりの会	大阪市		●
8	京都カーフリーデー実行委員会	京都市		●
9	カーフリーデー高松推進協議会	高松市	●	
10	なはモビリティウィーク&カーフリーデー実行委員会	那覇市	●	●

● ...実施都市のある県

青色...行政主催

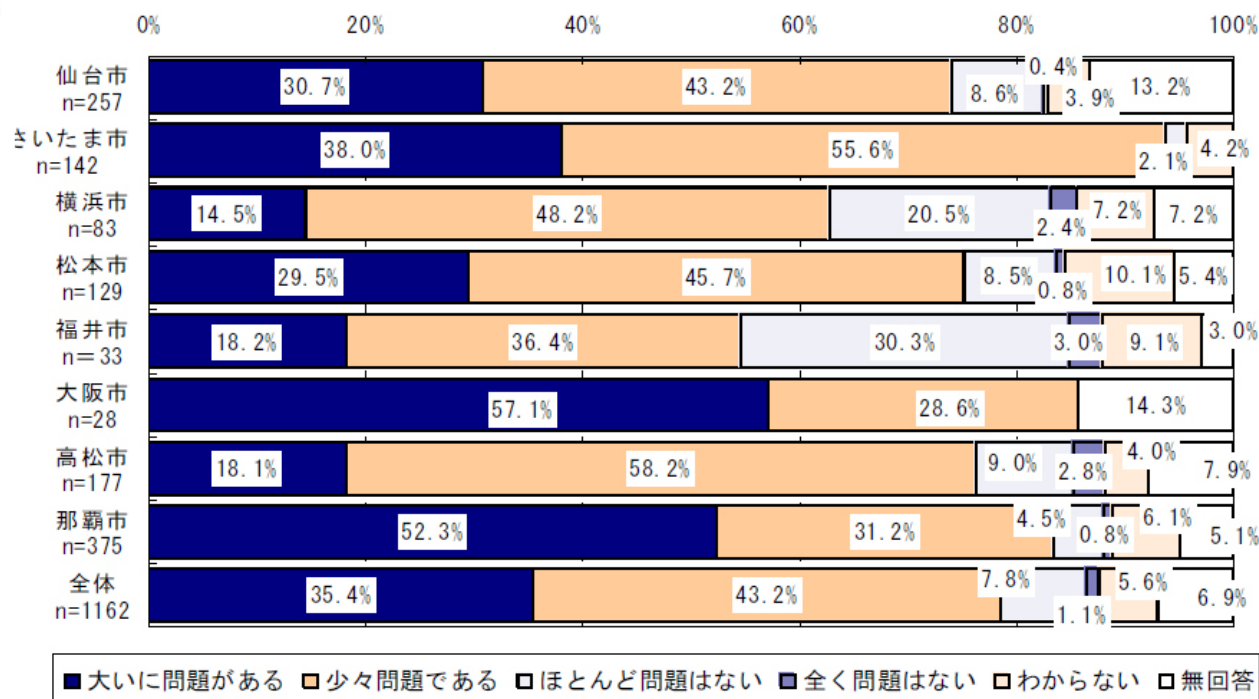
赤色...市民団体主催





日本では、2015 年は 10 都市の参加都市がありました。それぞれの地域での活動の広がりにより、カーフリーデーが徐々に広まりつつあります。この取組が、持続可能な都市交通政策の発展に向けた、市民の意識変革に寄与するような活動としても普及していくために、市民意向等を把握しながら進めていきたいと思ひます。

●自動車交通は中心市街地にとって問題だと思いますか？

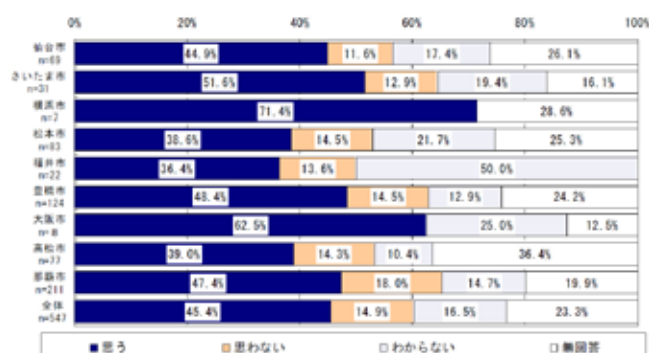
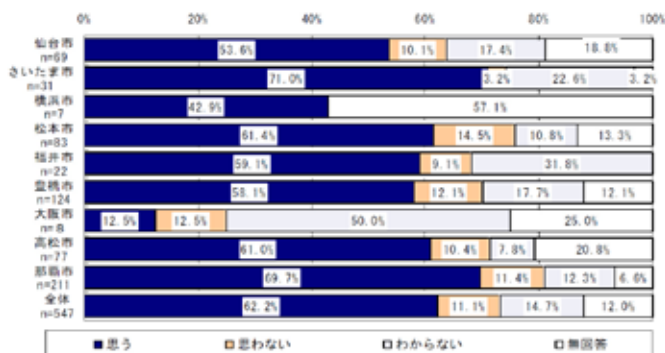


※豊橋市ではこの設問は実施していない。

●公共交通の利便性が向上した場合、自動車から移動手段を替えようと思ひますか？

●自転車の利便性が向上した場合、自動車から移動手段を替えようと思ひますか？

(自動車利用者のみの回答)



【カーフリーデーアンケート 2015】

実施都市：上記 9 都市

調査日：各都市カーフリーデーイベント実施日

※その他アンケート結果に関しては、カーフリーデージャパンまでお問い合わせ下さい



●仙台市●

実施主体：交通を考える研究会

モビリティウィーク（9/16-22）

9/16-22（9/13-30）「こう変わる バス・地下鉄」掲示

期間外：モビリティウィーク関連企画実施

- 9/23-30 「クルマ中心の生活を見直していこうよ」展
- ・「クルマの使い方を見直そう」のメッセージ発信
- 新設地下鉄路線を含め公共交通の利用促進 PR 等
- 9/23 「魅力いっぱい！交通フェスタ2015」に出展
- ・「環境と交通 クイズコーナー」
- （MW&CFD の PR ポスターの展示）



「こう変わる バス・電車」の掲示
（仙台駅前バスプールにて）



EMW&CFD パネル展示の様子

宮城県仙台市。今年で6回目の参加です。

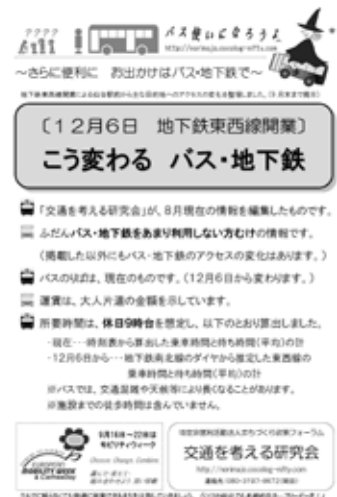
交通を考える研究会では、「いつか仙台でも本格的なカーフリーデーを！」をテーマに掲げて、様々な場所で長期にわたる PR 活動を行いました。

今年は新たな地下鉄東西線の開業に合わせ、公共交通のポテンシャルを見直し、より一層の利用促進に努めるべく、以下の取組が行われました。

- ・「クルマ中心の生活を見直していこうよ」展
- ・仙台駅前バスプール「こう変わるバス・地下鉄」の掲示
地下鉄東西線開業後の主な目的地へのアクセスの変化についての掲示。
- ・仙台市主催「交通フェスタ」への環境や交通に関するブース出展。

「モビリティウィーク&カーフリーデー」のPRとともに、バス・地下鉄・自転車の上手な利用について楽しみながら理解を深める展示を行いました。

チラシ・写真提供：交通を考える研究会



●さいたま市●

イベント・プロジェクト賞！
カーフリーデーベストショット賞！

実施主体：さいたまカーフリーデー実行委員会

モビリティウィーク（9/16-22）

- 9/14-20 マイカー通勤の抑制
（企業・団体を対象）
- 9/18 ノーマイカーデー
- 9/19 カーフリーデー
- 9/20 カーフリーデー
バスの日



イベント会場の様子



オープンカフェの様子

埼玉県さいたま市。今年で9回目の参加です。

”選ぼう！わたしたちの街に最適な交通手段”のキャッチフレーズの下、交通や環境、まちづくりに関する取組紹介、カーフリーデーの取組みや交通施策のPR、クイズラリー、電動二輪モビリティや電動アシスト付自転車、コミュニティサイクルの試乗体験、コミュニティバスを利用したバス乗り方体験、自転車の安全な乗り方教室、交通規制した道路空間でのオープンカフェなど、子どもも楽しみながら学べる催しとして「街中における車の使い方」を見直すきっかけづくりが行われました。

モビリティウィーク期間中には、「マイカー通勤の抑制」を今年度より拡大・本格実施に向け、実施期間や呼びかける企業・団体の対象を広げ行われました。



チラシ提供：さいたまカーフリーデー実行委員会





●横浜市●

カーフリーデーベストショット賞！

実施主体：NPO法人横浜カーフリーデー実行委員会
(様々な団体・企業・個人による市民団体)

モビリティウィーク (9/16-22)

9/22 カーフリーデー



パレードの様子



ちびっこバス試乗会の様子

神奈川県横浜市。今年で 12 回目の参加です。

環境問題を考える上で必要とされる総合的な判断力を持って課題解決できる人材育成という観点から、カーフリーデーが環境教育の機会となるよう、近隣の小学校へ約 3 万枚のチラシが配布されました。

カーフリーデー当日は、水素エネルギーを利用したエコカーの展示や自転車の安全走行に関するブース、UDタクシーの展示・ベビバイク（レンタサイクル）の紹介など、人と環境にやさし

い移動の啓発が数多く行われました。また、その他にも、環境・交通安全に関するブースや、地元の学校や横浜市消防局音楽隊によるパフォーマンスやパレード、楽しいステージなども行われました。



チラシ提供：NPO法人横浜カーフリーデー実行委員会

●松本市●

まちづくり貢献賞！

実施主体：松本市ノーマイカーデー推進市民会議
(行政支援の市民団体)

モビリティウィーク (9/16-22)

- 9/16-23 モビリティウィーク
- 9/16 「ノーマイカーデー街頭キャンペーン」
- 9/18 「ノーマイカー通勤統一実施日」
- 9/20 カーフリーデー
- 関連イベント -
- 9/19-23 「クラフトビールフェスティバル」
- 10/23 交通のまちづくりシンポジウム



トランジットモールの様子



カーフリーエリアの様子

長野県松本市。今年で 12 回目の参加です。

今年は5つの通りがカーフリーエリアに設定され、各通りでは、オープンカフェ、そば振る舞い、コンサート等が行われました。他にも、コミュニティラジオでカーフリーデー特別番組の生放送も実施され、開会式や各カーフリーエリアからの中継を行い、カーフリーデーの周知啓発が図られました。今年も公共交通（バス）、歩行者、自転車が共存するトランジットモールが実施されました。3回目の今回は、歩行者とバス等通行レーンの区分に使用していた「カラーコーンとバー」に替えて、「プランター」を使用し、心理的にも歩きやすく工夫され、公共交通の利便性確保と居心地の良い歩行者空間の両立が図られました。

チラシ・写真提供：松本市ノーマイカーデー推進市民会議





●福井市●

主催：カーフリーデーふくい実行委員会
(市民団体)



モビリティウィーク (9/16-22)

9/7-24 パネル展 (9/7-11, 16-24)
9/19 カーフリーデー
- 関連イベント -
10/4 まちフェスへの出展

福井県福井市。今年で9回目の参加です。

9/7-11, 16-24には、市や県と連携し、モビリティウィーク&カーフリーデーパネル展を実施。各々の交通施策の紹介と合わせて、モビリティウィーク&カーフリーデーについて紹介されました。

カーフリーデー当日は、福井駅前ビルにて実施。昨年から実施しているバス・電車のフリーキップを利用しお出かけする「ちょい旅」イベント、今年は事前の募

集を行ったこともあり、多くの参加者たちが、自分の好きなルートを回る旅を楽しみました。他にも、電動バイクやレンタサイクルの展示、路面電車の紹介をするブースも設けられ、たくさんの来場者で賑わいました。関連イベントの「まちフェス」においても、パネル展示やバス電車の乗り方教室などが行われました。



「ちょい旅」ブースの様子



モビリティセンターの様子

チラシ・写真提供：カーフリーデーふくい実行委員会

●豊橋市●

実施主体：愛知県豊橋市役所
(行政主催)

モビリティウィーク (9/16-22)

9/14-25 パネル展示
市・参画事業者によるエコ通勤
9/19 カーフリーデー

愛知県豊橋市。

今年で3回目の参加です。

モビリティウィーク期間中には、市職員や小中学校教員、企業から参加者を募ってのエコ通勤、またカーフリーデーのパネル展示が行われました。

カーフリーデー当日は、「ミニ市電の乗車体験」など子どもに楽しんでもらうイベントや、自転車シミュレーター体験と併せて自転車の無料診断ブースなども出展されました。また、来場者が今後行うカーフリーデーの趣旨に沿った取組みを記入する「カーフリー宣言」も実施されました。同日開催の2つのイベントと連携し、スタンプラリーや会場間を無料で移動できるシャトルバスの運行、会場間や帰りにも利用できる公共交通の割引きっぷの交付がされるなど、来場者に公共交通を使ってまちなかを回遊してもらう取組みが行われました。

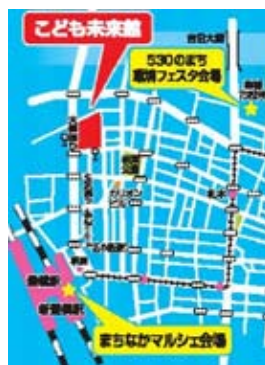
チラシ・写真提供：豊橋市役所



カーフリー宣言の写真撮影



自転車の無料診断の様子





●大阪市●

主催：自転車文化タウンづくりの会
(市民団体)



大阪府大阪市。今年で4回目の参加です。
自転車文化タウンづくりの会は“歩行者も自転車も安心して通行できる環境づくり”を求め、団体の趣旨に賛同するたくさんの方々を集めて、自転車で走行アピールを行っています。「大阪モビリティウィーク&カーフリーデー2015」当日は、たくさん集まった賛同者たちの自転車が、中之島→御堂筋→長堀通り(2週目は本町通)→堺筋→中之島を走行しました。会場では子どもの時から自転車に乗る楽しさとルールを知ってもらう「子ども自転車教室」を開催。その他にも自転車ルールやカーフリーデーのパネル展示、バスからの死角体験コーナーや自転車試乗会などが行われ、楽しみながら自転車・まちのことを考える場が提供されました。

モビリティウィーク(9/16-22)

9/20 カーフリーデー
「御堂筋へ自転車レーンの設置を」PR・
自転車マナーの啓発



アピール走行の様子



子ども自転車教室の様子

チラシ・写真提供：
自転車文化タウンづくりの会

●京都市●

市民アピール賞！

主催：京都カーフリーデー実行委員会
(市民団体)



京都府京都市。今年で3回目の参加です。
8/5～9/22には、カーフリーデーの開催に向け、駅前商業施設にてパネル展が行われました。事前にその趣旨を広報・周知すると共に、交通・環境・まちづくり等に関する様々な情報が、週ごとに展示内容を変えて紹介されました。
今年の新たな取組として、道路の利用に関する標語を参加者がつくり、駅前商業施設や商店街に展示し啓発する「みんなで標語大作戦」が行われました。また交通事業者と連携し、貸し切りバス「京都カーフリーデー号」を運行。都心部への乗用車流入抑制の啓発、公共交通利用の利便性を体験してもらうことを目的としたツアーが実施されました。その他にも交通安全教室や自転車なんでも相談所、年内にオープンするハイテク地下駐輪場の紹介も行われました。

モビリティウィーク(9/16-22)

9/16-22(8/5-9-22) パネル展示
9/22 カーフリーデー



商店街に掲出する標語を参加者がつくる様子



カーフリーデー当日の様子

チラシ・写真提供：京都カーフリーデー実行委員会



高松市

主催：カーフリーデー高松推進協議会
(行政主体・協議会形式)



香川県高松市。

今年で8回目の参加です。

モビリティウィークには、9/16からカーフリーデー当日まで、公共交通の利用促進に繋がる取り組みとして、公共交通を利用した方等を対象に県産品の景品が当たる「モビリティウィーク抽選会」が行われました。

また、新たに運行開始した「まちなかループバス」の体験乗車の実施やバスの無料乗車券の配布など、多数の公共交通の利用促進等につながる取組も実施されました。その他にも、レンタサイクルを利用して会場を訪れた方への利用料100円のキャッシュバック。また、ことடன்志度線でのサイクルトレイン(自転車を折畳んだり袋に入れず電車内に持ち込みできる)も運行、スタンプラリー、まちなかノルディックウォーク、路上DEテニスなど様々な企画が行われました。

モビリティウィーク(9/16-22)

9/16-20 モビリティウィーク抽選会
9/20 カーフリーデー



カーフリーデーの様子



ミニ電車

チラシ・写真提供：カーフリーデー高松推進協議会

那覇市

カーフリーデーベストショット賞！

主催：なはモビリティウィーク&カーフリーデー実行委員会
(行政+市民団体)

モビリティウィーク(9/16-22)

9/16-23 パネル展示
9/20 カーフリーデー
9/1-10/31 カーフリー宣言の募集
カーフリーデー応援キャンペーン
(公共交通利用者は応援店舗にて特典が受けられる)



自転車まちなめぐり出発式の様子



ポスターコンクール表彰式の様子

沖縄県那覇市。今年で9回目の参加です。

平成21年に策定された「那覇市交通基本計画」において、なはMW & CFDは「交通に対する意識改革」を図る重要な取組みの一つとして位置づけられています。

カーフリーデー当日は、環境にやさしい自転車や徒歩で、はなのまちを散策する「自転車まちなめぐり」や「なはまちなかウォーク」の実施やセグウェイの試乗、「クルマに頼りすぎないなはのまち」をテーマにしたポスターコンクールの表彰式などが行われました。また、地球温暖化対策のために環境にやさしい交通の構築を目的にしたパネル展示やノンステップバスを利用したバリアフリー体験など、人と環境にやさしい移動の啓発のブースが数多く出展しました。

チラシ・写真提供：なはモビリティウィーク&カーフリーデー実行委員会

【ヨーロッパモビリティウィーク&カーフリーデーの枠組み】



※一般社団法人カーフリーデージャパンは、ヨーロッパモビリティウィーク&カーフリーデーの日本での普及、啓発活動を担当する組織です

【ヨーロッパモビリティウィーク&カーフリーデー 実施の目的】

ヨーロッパモビリティウィーク&カーフリーデーは、環境問題を都市交通の面から対処していくため、また街に人中心の賑わいを創り出していくため、「車の使い方」を見直そうというものです。

持続可能な都市交通に向けたプロジェクトであり、単なるイベントの実施でもなければ、社会実験でもありません。

車優先社会から、公共交通や自転車を中心とした歩行者中心の暮らしづくりをめざし、より多くの人に、車のあり方について考えてもらいます。その上で、各都市がめざすまちづくりに向けての、新しい施策を開始する機会となるのです。

社会啓発

- ・ 車と地球環境問題
- ・ 車と都市交通
- ・ 車と都市文化
- ・ カーフリー空間の体験

を考える

■新しい施策の開始■

- ・ 市民への周知
- ・ 新しいシステムの紹介
- ・ 新施策のスタート

の機会とする



お問い合わせはカーフリーデージャパンまで
一般社団
ヨーロッパカーフリーデー日本担
東京都千代田区六番町6-20-3
TEL 03-5616-0303

一般社団法人 カーフリーデージャパン
ヨーロッパカーフリーデー日本担当コーディネーター 望月真一
東京都千代田区六番町6-20-304 TEL102-0085
TEL.03-3234-1765/fax.03-3234-1748
cfdjapan@cfdjapan.org
http://www.cfdjapan.org

